

保険料（税）水準の統一化について主な意見等から、医療費及び収納率の格差の解消に向けた取組や統一に伴う課題の洗い出しについて分科会等で議論が必要と考えられる。

（否定的な見解） 0市町

令和2年度は否定的な見解を明確に示した市町はなし。

（前向き、またはどちらかという前向きな見解） 6市町

- ・統一したほうが被保険者に説明しやすい。しかし、何を統一するのかどうか、「統一」の意味を定義づける必要があると思う。
- ・いきなり統一するのは保険者によっては負担を強いられるところもあるので、何年かかけて段階的に統一していくのがよいと思う。
- ・統一も仕方なしと考えているが、各市町への影響はそれぞれ大きいものと思う。変化にどのように対応していくかが課題である。

（慎重に検討） 19市町

- ・将来的な統一は必要であると考えているが、医療費格差や収納率等の格差是正が先と考える。
- ・収納率に差があると不公平感がある。収納率の差が縮まらないと議会对応が難しい。
- ・目指すべき方向はどの市町もわかっていると思うが、収納率の格差や方式の違いなど、統一に向けての課題は多いと感じる。

（その他、統一に関する意見）

- ・統一を行う際は、国保税の減免基準や短期証、資格証の発行基準など、各種事務処理の基準についても検討してほしい。
- ・二次医療圏ごとに統一するという考えもあるのでは。
- ・市町の意見を聞いてばかりでは空回りするので、県が方向性を示すべき。
- ・どこまで縮まったら統一するかの目安も必要では。統一後の保険料額も示してほしい。
- ・移住・定住にも影響する可能性があるため、他県の水準も参考にするとよいのでは。

（令和2（2020）年 副市町長等との意見交換から抜粋）